

睦小学校の教育

◇教育目標
やさしく かしく たくましく

経営の指標 人は人の中で人となる 睦み合いの中で育てる教育

◇目指す子ども像

- 1 素直で温かい心を持ち、自他を尊重するとともに自分の考えを発言できる子
- 2 基礎・基本が定着し、学び方を身につけ、進んで学ぶ子
- 3 心身ともに健康で、責任感をもち、最後まであきらめずにやり遂げる子

<やさしく…豊かな心>

- ・思いやりの心の育成
- ・感動する心の伸長

<かしく…確かな学力>

- ・生きていくための知恵の体得
- ・学び方・学ぶ心の育成

<たくましく…健やかな体>

- ・たくましく生きるための体力の育成
- ・個に応じた健康と安全の確保

努力点

- 1 道徳の時間を中心にすべての教科で「命の大切さ」の指導を徹底し、命あるものを大切に育てる。
- 2 互いのよさを認め合い、いじめや差別を許さない学級づくりを行う。
- 3 障がいのある児童の自立や社会参加、好ましい人間関係育成のための交流及び共同学習を充実させる。
- 4 「睦っ子 一日の生活」をもとに、基本的な生活習慣を身に付けさせる。特に小中学校連携の指導内容「あいさつ」「返事」「靴そろえ」の徹底を図る。
- 5 個を尊重するとともに、異年齢集団を活用した心豊かな集団づくりを行う。
- 6 「縦割り班活動」「共遊」など児童同士、教師と児童のふれあいの時間を確保し、お互いを思いやり協力する態度を育成する。
- 7 様々な体験的学習を通し、自主性・自立性を育成する。
- 8 音楽教室や芸術鑑賞を通して豊かな情操を育てる。
- 9 朝読書・読書環境の整備、業間の読み聞かせ、家読の推進等により、読書習慣を身に付けさせるとともに感動する心を育てる。
- 10 学校支援ボランティア、安全支援ボランティア等幅広い年代の地域の人々との交流活動や体験活動を推進するとともに地域を愛する心を育てる。

- 1 分かる、できる、楽しい授業を実施し、基礎的・基本的事項の定着を図る。
(読み・書き・計算、話す・聞く、学び方等の重点指導)
- 2 T・T学習、習熟度別学習、交換授業などを取り入れ、個に応じたきめ細かな指導に努める。
- 3 知識・技能を活用する力を高める指導方法の工夫と改善に努める。
- 4 朝の計算タイムを活用し、基礎学力の向上に努める。
- 5 学習する習慣を身に付けさせ、自ら学ぶ意欲や主体性、生涯にわたり学び続けようとする粘り強い態度と向上心を身に付けさせる。
- 6 情報化社会に対応できるようにパソコンの操作方法の習得と積極的な学習への活用を図る。
- 7 外国語活動を通してコミュニケーション能力の素地を養うとともに、自国や他国の文化や伝統を尊重する態度を養う。

- 1 自らの体力を知り、様々な場面で運動に取り組み、将来にわたりたくましく生きるための体力を付けさせる。
- 2 興味を持ち全力で取り組む体育の授業の充実に努める。
- 3 学校行事や業間、昼休み等を活用し、基礎体力の増強に努める。
・持久走チャレンジウィークやなわとびチャレンジ期間の設定
・持久走記録会やなわとび集会の実施
・業間や昼休み時間の外遊びの奨励
- 4 保健指導、給食指導を強化し、一人一人が健康・安全な生活に必要な生活習慣や態度を身に付けるとともに、進んで健康管理ができるようにさせる。
- 5 食育について共通理解を図り、学校栄養士や給食主任を中心に、「食に関する指導」の充実に努める。
- 6 「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基本的な生活習慣の確立と生活リズムの向上を図る。
- 7 「安全支援ボランティア」「かけこみお宿」の制度の活用と充実に努め、危機管理体制の確立と児童の安全確保に努める。

地域に信頼される開かれた学校づくり

- ・ 保護者、学校支援ボランティア、地域との連携
- ・ 学校の情報の提供、学校評価の適切な実施